



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 三菱倉庫株式会社  
 コード番号 9301 URL <http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤倉 正夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 稲毛 尚之  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	57,883	5.4	3,266	△9.6	5,046	8.7	3,019	6.6
2019年3月期第1四半期	54,931	5.6	3,613	6.2	4,642	5.7	2,833	△10.2

(注) 包括利益 : 2020年3月期第1四半期 △661百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 3,303百万円(△44.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	34.58	—
2019年3月期第1四半期	32.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	468,032	293,107	62.0
2019年3月期	482,575	299,104	61.4

(参考) 自己資本 : 2020年3月期第1四半期 290,169百万円 2019年3月期 296,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,500	5.0	6,200	△5.5	8,300	△6.9	6,400	14.3	73.73
通期	232,000	2.1	11,700	△7.6	15,900	△8.3	12,500	8.1	144.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	87,960,739株	2019年3月期	87,960,739株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,250,769株	2019年3月期	368,700株
------------	------------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	87,318,428株	2019年3月期1Q	87,593,055株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用情勢が着実に改善し、個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、貨物量が緩やかに増加しているものの競争の激化や人手不足等を背景としたコストの増加により引き続き厳しい状況のうちに推移し、他方不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善により一部に賃料の上昇がみられるなど比較的堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、積極的な営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流事業で、港湾運送事業において貨物取扱量の減少に伴い収入が減少したものの、倉庫、陸上運送及び国際運送取扱の各事業において貨物取扱量の増加に伴い収入が増加したほか、不動産事業で、不動産賃貸事業においてテナントの異動等により収入が減少したものの、マンション販売事業における販売物件の増加等により収入が増加したため、全体として前年同期比29億5千1百万円（5.4%）増の578億8千3百万円となりました。他方営業原価は、物流事業で、貨物取扱量の増加や施設の増強に伴い作業運送委託費、人件費、減価償却費等が増加したほか、不動産事業で、マンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したため、全体として前年同期比33億1千万円（6.8%）増の519億8千2百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期並みの26億3千4百万円となりました。

このため、営業利益は、物流及び不動産の両事業で減益となり、全体として前年同期比3億4千7百万円（9.6%）減の32億6千6百万円となったものの、経常利益は、持分法による投資利益の増加や為替差損益の改善により、同4億4百万円（8.7%）増の50億4千6百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業用地の再開発に伴う固定資産処分損の増加の一方、法人税等の負担減少もあり、前年同期比1億8千6百万円（6.6%）増の30億1千9百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫・陸上運送の両事業は、食品、医薬品、自動車部品等の取扱増加により、営業収益は倉庫事業で前年同期比2.8%増の137億5千6百万円、陸上運送事業で同1.0%増の128億8千7百万円となりました。他方港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱減少等により、営業収益は前年同期比1.5%減の61億5千9百万円となりましたが、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱増加等により、営業収益は同0.8%増の130億9千8百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比8億9千6百万円（1.9%）増の478億3千4百万円となりました。また営業費用は、貨物取扱量の増加や施設の増強に伴い作業運送委託費、人件費、減価償却費等が増加したため、前年同期比10億4千2百万円（2.3%）増の458億3千4百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比1億4千6百万円（6.8%）減の19億9千9百万円となりました。

## ② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、テナントの異動等により、営業収益は前年同期比2.9%減の71億6千2百万円となりました。その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の増加等により、前年同期比205.5%増の33億5千7百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比20億4千1百万円（24.1%）増の105億1千9百万円となりました。また営業費用は、マンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したほか、賃貸施設に係る修繕費の増加もあり、前年同期比22億5千5百万円（40.2%）増の78億6千5百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比2億1千4百万円（7.5%）減の26億5千3百万円となりました。

## セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
倉庫・港湾運送等の物流事業 (倉庫事業)	13,378	13,756	378	2.8
(陸上運送事業)	12,757	12,887	129	1.0
(港湾運送事業)	6,253	6,159	△93	△1.5
(国際運送取扱事業)	12,993	13,098	105	0.8
(その他)	1,555	1,931	376	24.2
計	46,938	47,834	896	1.9
不動産事業 (不動産賃貸事業)	7,379	7,162	△217	△2.9
(その他)	1,098	3,357	2,258	205.5
計	8,478	10,519	2,041	24.1
セグメント間取引消去	△485	△470	14	—
合計	54,931	57,883	2,951	5.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まない。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の総資産は、設備投資、営業未払金や未払法人税等の支払、自己株式の取得等に伴い「現金及び預金」が減少したほか、保有株式の時価低下に伴い「投資有価証券」が減少したため、前期末比145億4千2百万円減の4,680億3千2百万円となりました。

他方当第1四半期連結会計期間の負債合計は、「営業未払金」や「未払法人税等」等が支払に伴い減少したほか、保有株式の時価低下に伴い「繰延税金負債」が減少したため、前期末比85億4千5百万円減の1,749億2千4百万円となりました。

また当第1四半期連結会計期間の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したものの「自己株式」の取得に伴い株主資本が全体で減少したほか、保有株式の時価低下に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したため、前期末比59億9千7百万円減の2,931億7百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.6ポイント上回る62.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等の一方、仕入債務の減少等もあり、2億9千9百万円の増加（前年同期は24億2千2百万円の増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により、49億3千5百万円の減少（前年同期は52億9千2百万円の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により、56億9千8百万円の減少（前年同期は3億3千8百万円の減少）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（3千4百万円の増加）を加えた全体で102億9千9百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は326億7千2百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね期首予想（2019年4月26日発表の予想数値）に沿って進捗しているため、第2四半期連結累計期間・通期とも期首予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,337	31,214
受取手形及び営業未収金	40,603	38,617
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	14,332	12,968
その他	6,326	7,376
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	104,558	92,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	117,254	116,376
機械装置及び運搬具（純額）	4,471	4,315
土地	89,570	89,624
建設仮勘定	2,068	4,636
その他（純額）	6,134	7,948
有形固定資産合計	219,500	222,900
無形固定資産		
借地権	7,730	7,732
のれん	630	561
その他	6,327	6,347
無形固定資産合計	14,688	14,641
投資その他の資産		
投資有価証券	134,578	129,327
長期貸付金	516	515
繰延税金資産	2,914	2,892
その他	5,856	5,677
貸倒引当金	△20	△20
投資損失引当金	△17	△36
投資その他の資産合計	143,828	138,357
固定資産合計	378,016	375,899
資産合計	482,575	468,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	27,396	20,941
短期借入金	26,467	26,689
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	2,717	494
取締役賞与引当金	50	12
その他	13,558	14,170
流動負債合計	75,189	67,308
固定負債		
社債	31,000	31,000
長期借入金	24,235	23,983
長期預り金	20,679	20,997
繰延税金負債	21,870	20,618
役員退職慰労引当金	177	132
退職給付に係る負債	10,059	9,806
その他	256	1,078
固定負債合計	108,280	107,616
負債合計	183,470	174,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,564	19,564
利益剰余金	197,675	198,065
自己株式	△844	△3,503
株主資本合計	238,788	236,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,098	53,304
為替換算調整勘定	233	339
退職給付に係る調整累計額	45	5
その他の包括利益累計額合計	57,377	53,649
非支配株主持分	2,938	2,937
純資産合計	299,104	293,107
負債純資産合計	482,575	468,032

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	6,379	6,669
倉庫荷役料	4,413	4,498
陸上運送料	12,757	12,886
港湾荷役料	4,971	4,768
国際運送取扱料	12,968	13,075
不動産賃貸料	7,813	7,810
その他	5,627	8,173
営業収益合計	54,931	57,883
営業原価		
作業運送委託費	24,256	24,481
人件費	9,368	9,621
施設賃借費	2,366	2,302
減価償却費	3,011	3,323
その他	9,669	12,253
営業原価合計	48,672	51,982
営業総利益	6,259	5,900
販売費及び一般管理費	2,645	2,634
営業利益	3,613	3,266
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	1,415	1,474
持分法による投資利益	85	240
その他	167	222
営業外収益合計	1,679	1,947
営業外費用		
支払利息	145	151
為替差損	465	-
その他	39	15
営業外費用合計	650	166
経常利益	4,642	5,046
特別利益		
固定資産処分益	31	-
投資損失引当金戻入額	11	-
特別利益合計	43	-
特別損失		
固定資産処分損	81	875
投資損失引当金繰入額	-	18
災害による損失	260	-
特別損失合計	342	894
税金等調整前四半期純利益	4,343	4,152
法人税等	1,448	1,091
四半期純利益	2,895	3,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,833	3,019



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,895	3,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,110	△3,781
為替換算調整勘定	△570	128
退職給付に係る調整額	△12	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△119	△29
その他の包括利益合計	407	△3,722
四半期包括利益	3,303	△661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,260	△709
非支配株主に係る四半期包括利益	42	47

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,343	4,152
減価償却費	3,110	3,430
引当金の増減額(△は減少)	△12	21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△238	△254
受取利息及び受取配当金	△1,426	△1,484
支払利息	145	151
売上債権の増減額(△は増加)	△705	2,010
販売用不動産の増減額(△は増加)	△723	1,363
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,542	△6,467
預り金の増減額(△は減少)	729	△91
その他	539	△1,165
小計	3,221	1,667
利息及び配当金の受取額	1,742	1,521
利息の支払額	△207	△173
法人税等の支払額	△2,333	△2,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,422	299
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△5,420	△4,978
固定資産の売却による収入	35	39
投資有価証券の取得による支出	△17	△15
その他	110	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,292	△4,935
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増減額(△は減少)	7,947	△33
社債の償還による支出	△7,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△2,665
配当金の支払額	△1,228	△2,630
その他	△56	△368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338	△5,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	△166	34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,375	△10,299
現金及び現金同等物の期首残高	39,580	42,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,205	32,672

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月26日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において普通株式881,800株、2,658百万円の自己株式を取得しております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
(会計方針の変更)	
国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。	
なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。	

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	46,750	8,180	54,931	—	54,931
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	187	297	485	△485	—
計	46,938	8,478	55,416	△485	54,931
セグメント利益	2,145	2,868	5,014	△1,400	3,613

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,400百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,421百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	47,631	10,251	57,883	—	57,883
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	203	267	470	△470	—
計	47,834	10,519	58,354	△470	57,883
セグメント利益	1,999	2,653	4,653	△1,386	3,266

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,386百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,403百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。